

平成28年度双葉会本部事業報告・決算報告（抜粋）

総括

今年度は改正社会福祉法完全施行前の年度であり、定款変更、諸規則、諸規程の改定に追われた年度でした。老人施設においては非常に厳しい状況の中、日常生活継続加算、栄養マネジメント加算、介護職員処遇改善加算等に対する体制整備を行い、各種加算請求体制が整ったことから次年度以降は決算に反映させることができると考えています。また、看護・介護職の人材難が深刻であり、知恵をしぼり雇用対策の強化を図っているところです。

保育園については、町が力を入れている子育て支援施策の一つである保育料無料化の効果が徐々に出てきている傾向が見え、上向きの決算状況となっています。

老人施設においては、入所稼働率は寿楽荘で93.0%、琴清苑で97.8%、短期入所事業では寿楽荘114.9%、琴清苑43.8%という結果であり、前年比入所稼働率は、寿楽荘は若干の減少、琴清苑では上昇数値となりました。その反面、短期入所事業の稼働率が安定しないのは、計画的利用が難しいという理由によるものと考えられます。入所については概ね計画通りの実績を残せたものの、入所待機者の著しい減少、介護保険改定後の要介護度3以上の制約等課題となっています。しかし、稼働率の変動はそのまま事業活動の結果に直結するものであり、これからも年間を通じ維持できるよう努めて行きます。

診療所については、施設利用者の重度化・町内の高齢化等により医師の業務が激増しています。今後、医師の健康状況も考慮し、非常勤医師の増員等も視野に入れ体制強化を計って行きます。

ともあれ各施設において、法人の理念である「心の福祉」の周知に努め、社会貢献事業の充実・強化、職員処遇改善・育成、再雇用制度の充実に取り組み厳しいながらも安定した運営に努めました。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		平成29年3月31日
資産・負債の内訳		双葉会本部
I	資産の部	***
1.	流動資産	***
	流動資産合計	29,740,702
2.	固定資産	***
	固定資産合計	109,384,032
	資産合計	139,124,734
II	負債の部	***
1.	流動負債	***
	流動負債合計	10,288,000
2.	固定負債	***
	固定負債合計	0
	負債合計	10,288,000
	差引純資産	128,836,734

拠点区分貸借対照表			平成29年3月31日
			双葉会本部会計
		借方	貸方
流動資産	29,740,702		
固定資産	109,384,032		
資産の部合計	139,124,734		
流動負債		10,288,000	
固定負債		0	
負債の部合計		10,288,000	
基本金		0	
国庫補助金等特別積立金		0	
その他の積立金等		7,064,600	
次期繰越活動収支差額		121,772,134	
純財産の部		128,836,734	
負債・純財産の部合計		139,124,734	

拠点区分資金収支計算書			(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日
勘定科目		双葉会本部会計	
決算の状況	事業活動	事業活動収入計①	534,271
		事業活動支出計②	3,126,609
		事業活動資金収支差額③ (①-②)	-2,592,338
	施設整備	施設整備等収入計④	0
		施設整備等支出計⑤	0
		施設整備等資金収支差額⑥ (④-⑤)	0
	その他の活動	その他の活動による収入計⑦	15,725,565
		その他の活動による支出計⑧	20,000,000
		その他の活動資金収支差額⑨ (⑦-⑧)	-4,274,435
		予備費支出 (⑩)	0
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩		-6,866,773	
前期末支払資金残高⑫		26,319,475	
当期末支払資金残高⑬ (⑪+⑫)		19,452,702	

※ 会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。